
第7章

資料編

1 静岡市公共建築整備マニュアル策定懇話会の活動

公共建築の設計経験がある、建築設計事務所、建築設備設計事務所で実務に携わられている専門家にご協力を頂きまして、静岡市公共建築整備マニュアルの策定過程でのご助言、ご意見を頂いてまいりました。

以下にこの活動の記録及びご意見を頂いた内容について記します。

(1) 活動記録

- 平成18年 9月28日 第一回懇話会開催
- 平成18年11月15日 第二回懇話会開催
- 平成18年12月20日 第三回懇話会開催
- 平成19年 1月25日 第四回懇話会開催



(2) 頂いたご意見の内容

- 今までの業務で足りなかった内容を補い、同じ様に進めていける形とすることで確認内容に見落としが少なくなる
- マニュアルを健全に行使するためには、簡潔で次のステップに進めやすいものとして、職員が同じ技量で視点を共有しながら業務を行うことが大事
- 様々な用途に満足させようとした場合、表現が抽象的でまとめにくくなる
- 段階毎の評価、フィードバックが可能なようにする
- 構想企画の段階で各部署が横通しの確認を行い、記録を明確に残して後戻りのないシステムをつくる
- 構想企画段階で整備の重点要求事項を明らかにする
- マニュアルを運用し修正を行うメンテナンスのシステムを設ける
- 整備の枠の中で組織として検証の結果を示し、理解を得て事業を構築する
- 与条件を整理することで大きな視点を見失わない
- 事業の方向性を揺るがないものとするために業務の進行に従い相互定期的に確認する

(3) 懇話会委員名簿

エラー! リンクが正しくありません。

2 静岡市公共建築整備マニュアル策定作業部会の活動

静岡市職員のなかでも、公共建築整備に関わりの深い、企画部局、財政部局、建築部局、教育委員会の職員の方々にご協力頂いて、静岡市公共建築整備マニュアル策定作業部会を開催してまいりました。より分かり易く使いやすいマニュアルになるよう、実務に携わる方々に詳細なご意見を伺い策定を進めてまいりました。この活動の記録を下記に記します。

(1) 活動記録

- 平成18年 9月22日 第一回作業部会開催
- 平成18年10月23日 第二回作業部会開催（ワークショップ形式）
- 平成18年11月 8日 第三回作業部会開催
- 平成19年12月11日 第四回作業部会開催
- 平成19年 1月22日 第五回作業部会開催

(2) 頂いたご意見の内容

- 主管、建築部局にマニュアル運用の目的を明らかにして、他の実務との関係性を示し、整備資料の提出時期を示すことで運用を促す
- 事業全体の流れとチェックシートとの関係を体系化して示し理解を得る
- 各職員が構想企画、基本計画などの事業全体の流れを把握することで業務に対する姿勢が変わる
- 事業計画初期の段階で、建築に関する法的規制に関する条件を整理する
- 今後このシステムを使うことで、初期段階から建築の専門的な内容について建築部局に相談することが可能となる
- 整備プロセスの段階が移行する時に引き継ぎをどのように行うかが課題
- チェックシート記入の責任を一元化しなければ運用されにくい
- チェックシート作成を含めた事業の進行管理を建築計画部局で行うことで着実に運用させる
- 完成建物の保有水平耐力の値が記録されているとその性能が分かり易い
- 設計を委託する民間事業者に協力が得られるのかが見えにくい
- 建築部局が構想企画段階に参入して事業を展開する意義を明らかにする

(3) 活動内容の一部

マニュアル策定作業部会の活動として、ワークショップ形式での活動を行いましたので、その記録を次頁以降に掲載いたします。

久能海岸沿いの石垣イチゴ園

冬にさんさんと注ぐ太陽と、空と海の青さと、イチゴ色のあざやかなコントラストが、さわやかさをイメージさせる。用宗海岸、大崩、三保、日本平といったロケーションの良さもポイント。

東静岡駅南グランシップ広場

富士山を背景として、あこがれの乗り物「新幹線」が、在来線と平行して通過する風景。

イベントが開かれる青葉シンボルロード

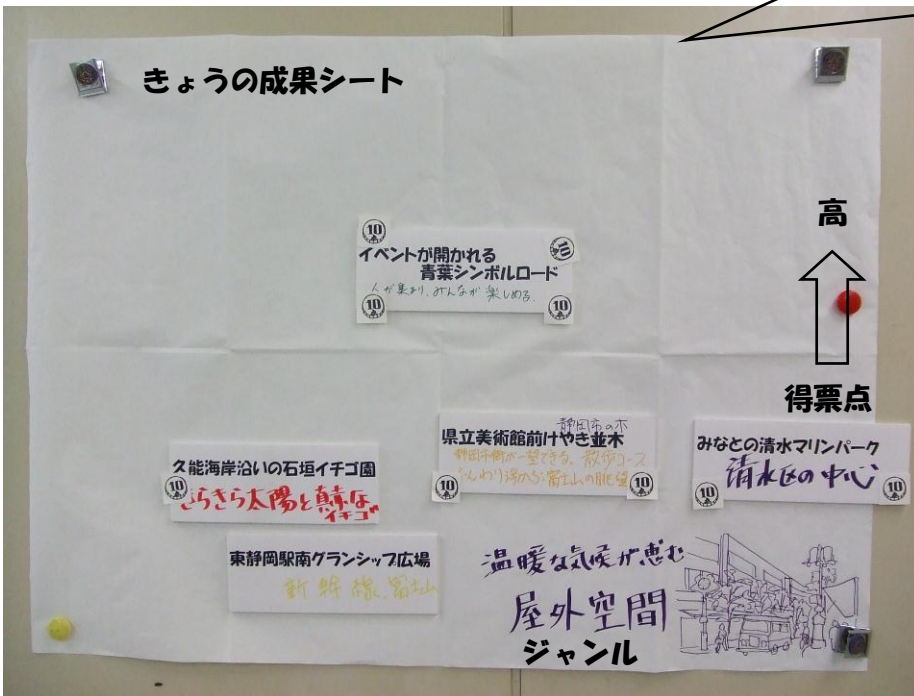
日にちとか内容を決めず多目的に使う広場であり、イベントのにぎわいが、静岡市の一つの風景となっている。

県立美術館前けやき並木

背景に富士山が浮かぶ、静岡市街地を一望できる風景。家族で落ち着いた時間を過ごすことの出来る場所。

みなとの清水マリナーパーク

清水駅からの人の流れが、つながる場所。日本平から富士山をみるときにも、その中心には清水港がある。週末になると開催される、イベントのにぎわいの風景。マリナーパーク越しにも、富士山がみえる。



開催者の感想
「富士山が見える」という意見が多かったです。みなさんにとっての大切な原風景を示していると思いました。

ワークショップでの発表の様子



みなさんの意見を合わせると、静岡県の売りは「自然」と「歴史」だと分かりました。東京や名古屋のような、街中の空間ではない、という意見に、ほっとしています。街中の空間も大切ですが、人を呼ぶには、他に無いものでなければ「売り」にならないと思うからです。

特に歴史的に目立った街並みや、近代的に発展した商業施設については、特徴的な象徴性に乏しいとおもいます。やはり自然景観に関心が高いと思いました。

ワークショップ形式についての研修は受けているが、自らワークショップに初めてで新鮮な思い。静岡らしさというのは広義で、建築的なものまで考えるとテーマードの中から選ぶのは少々大変であった。その中で無理をした。多くの意見を聞けるのは面白いことだと感じた。

総合的には短期間でまとめた結果としては、良かったと思います。詳細な内容の検討も必要であると思います。市民意識も検討すべきだった。

初めてのワークショップでやってみる価値はあると思います。今回は参加者が市職員で関係した部課ですが、年齢・性別・職業が多ければ、かなり意外な意見が出ると思います。今回に限れば、テーマなど選ぶ項目が少ないと思われ、これがどの程度のものなのか分かりづらい。

まずはコミュニケーションをはかる上での自己紹介をするのではなく、他己紹介することについて、とても新鮮に感じました。自己紹介では、他人が関心がなければ、かんたんに流れてしまうが、確実にペアの一人には伝えることができるし、また、他人を紹介する行為も覚えなくてはならないので、とてもよいコミュニケーションのとり方だと思います。ワークショップについて、あるキーワードからキーワードを導く作業と、それに対する意見が、考えにくく、評価を得ることのむずかしさとプレゼンテーションの仕方に戸惑う点がありました。いかに多人数を説得できるかが、とても勉強になり、今後に生かしていきたいです。

静岡市には良いところ、PRすべきところがたくさんあることの再認識。

静岡は、ほどほど田舎、ほどほど町、歴史・文化のある町であると思います。キーワードに登呂遺跡が無いのは残念でしたが、思っていた通りのテーマが出たと思います。このほどほど感が、静岡らしさではないでしょうか。

日頃共に仕事をしている隣人が意見を交わすことで、各人の心の内面で考えていることを少し理解できた気がする。多数の人間が集まれば当然意見が分かれる訳であるが、少なくとも賛同を得られる結論つけや、その努力をおしんでならないと感じた。

多忙な中、ちょっとした一息になった時間。ワキアアイにできたことが、良かった点である。認められたテーマの中で自分が選定したものをアピールするが、やはり多くの人になじみのあるもの、世に出ているものが上位に行ったと思う。静岡らしさは、一点をみて考えるのか、全体的にみるのか、今回のテーマでは不明の部分はあるかと思われる。

静岡らしさって抽象的でむずかしいですね。自然の恵、歴史、産業、交通、いろいろな要素がありますね。静岡は水というのもテーマになると思います。川、海、そして地下水。人を潤してきたし、水害も与えてきました。

ひとことアンケート「きょうの感想」

3 参考資料一覧

マニュアルを策定する上で、またマニュアルに添ったチェックシートを記入していく上で、内容を確認する必要がある設計資料を記載しました。

建物によって該当する、該当しないといった違いがあり得ると考えられます。出来るだけ設計初期の段階から該当の有無を確認し、設計の基準となる内容が含まれる場合、これらを取りこぼすことなく丹念に確認していく作業が必要になります。

○第2次静岡市総合計画（2010～2014）	企画課
○静岡市都市計画マスタープラン	都市計画課
○静岡市景観形成ガイドプラン	建築総務課
○国土利用計画（第一次静岡市計画）	企画課
○静岡県福祉のまちづくり条例に関する事務の手引	
○静岡市環境基本計画	環境総務課
○静岡市浸水対策推進プラン	河川課・下水道計画課
○静岡市建築保全ガイドブック	建築総務課
○保全記録の手引き	建築総務課
○静岡市 公共建築物計画保全支援システム	建築総務課
○静岡県建築関係規則集	
○静岡市自治基本条例	企画課
○静岡市市民参画の推進に関する条例	企画課
○静岡県建築構造設計指針・同解説	
○静岡県 “ふじのくに” エコロジー建築設計指針	
○国土交通省営繕事業のプロジェクトマネジメント要領	
○国土交通省国家機関の建築物及びその付帯設備の位置、規模及び構造に関する基準	
○国土交通省官庁施設の基本的性能基準	
○国土交通省建築設計基準	
○国土交通省建築構造設計基準	
○国土交通省官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準	
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書	
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共電気設備工事標準仕様書	
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共機械設備工事標準仕様書	
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書	
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書	

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部官庁施設における環境負荷低減プログラム
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部官庁施設のE S C O事業実施マニュアル
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部官庁施設の省CO2化行動計画
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部官庁施設の環境保全性に関する基準
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部環境配慮型官庁施設計画指針
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部より良い公共建築づくりのための事業評価システム
- 国家機関の建築物を良質なストックとして整備・活用するための官庁営繕行政のあり方について
- 地方公共団体におけるP F I事業導入の手引き 内閣府P F I推進室
- C A S B E E 建築環境総合性能評価システム
- 静岡市建築設計者選定要綱 建築総務課
- 静岡市建築工事のマネジメント・サイクル実施（設計時・設計V E・事後評価）
- 静岡市建築確認事前チェックリスト 建築指導課
- 静岡市P F I導入に関する基本方針 企画課
- 清水港みなと色彩計画 清水港振興課

4 チェックシート参考記入例

以降にチェックシート参考記入例を掲載します。

既に事業を運営されている公共建築物に対して、当時の各担当者にご協力をお願いして、経過を振り返る形で内容を記入頂いております。

未記入の欄もありますが、実際のマニュアル運用及びチェックシート記入においても全てが記入できる内容となっているとは考えておりません。該当する箇所を一つずつ埋めていくことで、設計の考え方を整理するといった運用が着実な方法であると考えています。